国産農産物消拡の取り組み表彰

フード・アクション・ニッポン コメや穀物も多数受賞

国産農林水産物の消費拡大に向けた国民運動のフード・アクション・ニッポンは、昨年11月に東京・池袋でアワード2015表彰式を開催した。大賞1件、部門最優秀賞5件・優秀賞40件、「食べて応援」賞5件、「審査委員特別賞」5件に加えて、新設された「インバウンド賞」5件の受賞者表彰、その活動紹介が行われた。7回目の本年度は合計865件の応募があり、アワード大賞には JASオーガニック黒豚に認証された㈲三浦屋（鹿児島市）の「薩摩黒豚」プロジェクトが輝いた。入賞者は総計158件となっている。

アワード2015の審査基準は、①国産農産物などの消費拡大、あるいは消費拡大のための意識の啓発に寄与している②取り組みが継続して評価されている、あるいは今後の広い普及が期待できる③農業・地域の活性化、環境問題への対応など国産農産物などの消費拡大以外の面でも波及効果が期待できる――の3事項が各部門共通。各部門の審査基準は次の通り。

【商品（農林水産業分野）】▽地域の風土や地域で培われた技術を生かすなどの特徴▽作り手の思いや新たな工夫などの付加価値▽安全性の向上や消費者の安心を高める工夫など信頼性の確保▽製法・技法・品種などの伝統を生かした新しい価値の創造など。

【商品（食品産業分野）】▽地域の風土や地域で培われた技術を生かすなどの特徴▽伝統的な製造方法や発展性のある新たな製造方法▽消費者の環境問題への対応など国産農産物などの消費拡大に向けた提案▽製品の解明に根付いている▽食品・食材が長寿などに効果があると原因解明される研究など。

【販売活動部門】▽産地や業種間との連携▽食品廃棄の減少や物流の効率化といった課題への対応▽消費者の要望や市場ニーズへの対応▽関心を惹き付ける工夫など。

【食文化・普及啓発】▽地域の食文化の保護、継承▽地域の食文化を活用した新たなブランドの開発など新しい価値の創造▽取り組みを担う中核的な人材や将来を担う若手の育成など。

【研究開発・新技術】▽将来波及が期待される新規技術など先進性・独創性・現場の取り組みで見出した現象の発見および現象の解明に向けた追求▽地域で伝統的に根付いている食品・食材が長寿などに効果があると原因解明される研究など。

【食べて応援しよう！賞】▽被災地の農業と食品産業の復興や被災地住民の支援に寄与している。

【インバウンド賞】▽外国人に魅力を訴求する上での工夫▽外国人の食文化の食習慣への適応。

【審査委員特別賞】▽先進的な商品や活動として審査委員が推薦し、審査委員会が認めたもの。

各部門の受賞者代表が主催者代表・来賓とともに記念撮影

国産農産物 消費推進を

小泉武夫実行委員長

アワード表彰式では、実行委員会の小泉武夫実行委員長（東京農業大学名誉教授）が要旨次のようにあいさつした。

赤池学委員長

▽現在、日本の食料自給率は40％（カロリーベース）で、外国から食料を多量に輸入しているが、その輸出国も自給率が82％だったが、5年後には100％となり、昨年まで120％を維持している。

▽このアワードのように日本もみんなで国産農作物を作り消費することができる。TPPを恐れず、「自分たちで作って食べれば外国から食料を買うことはない」という気持ちで臨みたい。受賞者は日本の将来のためにも頑張ってほしい。

食べて応援賞は5件

伊藤忠「たかたのゆめ」プロジェクト

森山裕農相

表彰は各部門別に行われた。

コメ関係では、食べて応援しよう！賞を受賞した伊藤忠商事㈱（東京都）、さらに審査委員特別賞を受賞した第一屋製パン㈱（同）それぞれ表彰状と副賞が授与された。

伊藤忠商事の小野氏は席上、「当社の社員が岩手県陸前高田市へ東日本震災の被災地応援ボランティアに行くところから始まったプロジェクトだ。本社の社員食堂と協力していただいた近隣レストラン22社のお陰でもあり、この場を借りてお礼を申し上げたい」と受賞の喜びを語った。

表彰後のあいさつで小泉実行委員長は「受賞者は商品に貼ることができる。おおいに国産食材を活用した農芸品の大きな力になっていく思う。

▽現在、「CSB」が関心を集めている。これから公業は事業益で儲けるだけでなく、公益と両立する投資・開発活動を行っていくことが求められる。上位賞受賞の大手企業による大量・量産規格品の中に、国産食材を積極的に使っていく取り組みは間違いなく自給率の数値向上の具体的なインバウンドにつながって行くだろう。

伊藤忠商事・小野氏に表彰状

エコ・ライス新潟のアルファ化米

米穀機構の消費拡大策「夏越ごはん」

新設のインバウンド賞獲得

商品部門・農林水産業分野の最優秀賞は、愛媛県・㈱宇和島プロジェクトが受賞した。プロジェクトは、「みかん魚 開発プロジェクト」。商品部門・食品産業分野の最優秀賞は、㈱ななつ農園（鹿児島県）による「リサイクルから生まれた菜種油・ヤッタネ！菜タネ！」だった。

販売活動部門の最優秀賞は、西日本有機農業生産協同組合/パルシステム生活協同組合連合会（東京都）による「有機栽培と取り組む産地のネットワーク九州共同物流の取り組み」。食文化・普及啓発部門の最優秀賞は、㈱トランタンネットワーク新聞社みをまる普及委員会（神奈川県）の「ミンガール発、手作り持ち寄り臨み合い」という気の即席味噌汁・みそまは日本の将来のためにも頑張ってほしい。

研究開発・代表取締役所長）は、アワード上位賞受賞者について次のように総評した。

▽わたしは「工業製品含めて大きな力になっていく」と考えている。

▽地域のブランド力がある食材にクリエイティブを加えて付加価値を高く提供していくことは、間違いなく2020年に向けてインバウンドを持つ技術として、日本発のクリエイティブ、デザイン、日本ならではのテクノロジーを注ぎ込んで、付加価値の高い商材を開発していくことだ。ポストTPP時代に戦略的な農芸品開発が地方創生を含めて大きな力になっていく考えている。

▽地域のブランド力がある食材にクリエイティブを加えて付加価値を高く提供していくことは、間違いなく2020年に向けてインバウンドを持つ技術として、日本発の国産食材を活用した農芸品の大きな力になっていく思う。

▽現在、「CSB」が関心を集めている。これから公業は事業益で儲けるだけでなく、公益と両立する投資・開発活動を行っていくことが求められる。上位賞受賞の大手企業による大量・量産規格品の中に、国産食材を積極的に使っていく取り組みは間違いなく自給率の数値向上の具体的なインバウンドにつながっていくだろう。

盛況だった対象商品の即売会

なお表彰式に合わせて消費者向けの「フード・アクション・ニッポン アワード2015展示会」も開催され、受賞事業者・団体の受賞商品やプロジェクト概要のパネルが展示された。

また12月には、JR東京駅地下一階駅舞の広場で219作品の消費者向け情報発信イベント「フード・アクション・ニッポンアワード受賞／入賞者さんなを国内外の消費者にアピールすることにより、農林水産業や地域食品産業の振興と地方創生に寄与献してほしい」と呼びかけた。

本紙関係では、商品部門の食品産業分野で優秀賞の金賞、㈱高畑精麦、㈲エコ・ライス新潟、審査委員特別賞の㈱禾が食べて応援しよう！賞を税込み248円、クリスマスパック詰めを1296円で販売した。

㈱禾は、3大アレルゲ門の食品産業分野で優秀賞の金賞、㈱高畑精麦、㈲エコ・ライス新潟は、アルファ米（石巻魚節勝太のわかめと飯）税込み281円、「わかめご飯」410円、長期保存シリーズ「新潟子たちの春鶏はんぶん米」410円、「新潟はんぶん米」259円も販売した。

㈱高畑精麦は、香川県産はだか麦を使った麦ごはん用「裸丸麦」「裸麦」「裸押麦」を税込み238円で販売。㈲エコ・ライス新潟は、アルファ米（石巻魚節勝太のわかめと飯）税込み281円、「わかめご飯」410円、長期保存シリーズ「新潟子たちの春鶏はんぶん米」410円、「新潟はんぶん米」259円も販売した。

価格の同5100円が特別価格4100円になる期間限定の受賞キャンペーンをアピールした。

同商品の無料サンプリング配布も実施。30本入り1ケースを通販サイトのJAタウンで12月末までに申し込むと通常販売5㌔（㌔当たり）を税込み170円で販売した。

新技術優秀賞 全農「お米のミルク」も受賞

新潟・山田錦栽培

商品、販売活動、食文化・普及啓発、研究開発、知見）＝国産小麦ゆめちから使用「ゆめちから入り塩バターパン」▽全国農（東京都）＝「全農お米のミルク」▽㈱高畑精麦（香川県）＝香川県産はだか麦「地方食材創作メニューフェア」のプロジェクトで受賞。食文化・普及啓発部門は、次の4件が受賞した。▽イオンアグリ創造㈱（千葉県）＝「イオン農場だからできること」分解粉末の開発。

新技術優秀賞の各部門の優秀賞には、コメなど穀物関係のプロジェクトが多数。商品部門の農林水産業分野では、新潟県山田錦協議会（新潟県）が「純米大吟醸を世界へ！ 新潟・山田錦栽培革命」のプロジェクトで受賞した。

同部門の食品産業分野は、次の5件が受賞した。▽敷島製パン㈱（愛知県）＝「東京の復興を願って地元産物を主役にした駅弁3種」。

販売活動部門では、㈱鉄道会館（東京都）が「地方食材創作メニューフェア」のプロジェクトで受賞。食文化・普及啓発部門は、次の4件が受賞した。▽イオンアグリ創造㈱（千葉県）＝「イオン農場だからできること」分解粉末の開発。

ンエンタプライズ（宮城県）＝「東京の復興を願って地元産物を主役にした駅弁3種」。▽敷島製パン㈱（愛知県）＝「東京の復興を願って地元産物を主役にした駅弁3種」。

▽第一屋製パン㈱（東京都）＝国産の食材にこだわって作った「日本のイダー」▽やまげん㈱（なべつじ農園、山梨県）＝「国産ルサミコ酢造りと販促活動」。

▽㈱オールアパウトラックス、東京都）＝「デコ巻き寿司」で家庭寿文化を継承・発展。

研究開発・新技術部門は、次の4件が受賞した。▽会津天宝醸造㈱（福島県）＝「玄米オーリー」▽岡山県農林水産総合センター生物科学研究所（岡山県）＝農産物の増収・品質向上を画期的に可能にする技術の開発▽沖縄県委託事業知的産業クラスター形成推進事業事務局（沖縄県）＝「生活習慣病を予防改善する沖縄県高機能米開発プロジェクト」▽たかいも食品㈱／日本ハイドロパウテック㈱／十勝清水町農協（新潟県）＝コメ・野菜などを用いた加水分解粉末の開発。

▽農業生産法人㈲柏崎（新潟県）＝「夏越ごはん」に青果（青森県）＝世界へ羽ばたく「青森のくろにんにく」▽食のフェア推進協議会（日本ホテル㈱、東京都）＝「産地と技の饗宴 ホテルレストランで地方食材をアピール」▽田子の浦漁協（静岡県）＝外国人にも好評！ 田子の浦で獲れたてから提案する新しい食の流通」▽㈱ヤマトミ（宮城県）＝石巻ブランドを全国へ「煮焼きあなご」。

訪日外国人に向けて国産農林水産物の商品や取り組みなどを表彰する新設の「インバウンド賞」は、次の5件が受賞した。

▽㈱ヤマトミ（宮城県）＝「石巻ブランドを全国へ「煮焼きあなご」。▽㈱カピタノーム（宮城県）＝国産アンチョビフィレ「国産」しかも、石巻」▽特定非営利活動法人がんばろう福島、農業者等の会（福島県）＝「福島県の農業者から提案する新しい食の流通」▽㈱ヤマトミ（宮城県）＝石巻ブランドを全国へ「煮焼きあなご」。

▽伊藤忠商事㈱（東京都）＝伊藤忠「たかたのゆめ」プロジェクト▽㈲エコ・ライス新潟（新潟県）＝中越地震・東日本大震災がつなぐ「わかめご飯」▽㈱カピタノーム（宮城県）＝国産アンチョビフィレ「国産」しかも、石巻」▽特定非営利活動法人がんばろう福島、農業者等の会（福島県）＝「福島県の農業者から提案する新しい食の流通」▽㈱ヤマトミ（宮城県）＝石巻ブランドを全国へ「煮焼きあなご」。

▽㈱柏崎（新潟県）＝「夏越ごはん」に青果（青森県）＝世界へ羽ばたく「青森のくろにんにく」▽食のフェア推進協議会（日本ホテル㈱、東京都）＝「産地と技の饗宴 ホテルレストランで地方食材をアピール」▽田子の浦漁協（静岡県）＝外国人にも好評！ 田子の浦で獲れたてから